

用語の定義と概念

■はじめに

この項では、本ガイドラインの治療、ケアを考えるうえで、整理しておくべき用語の定義について本文から抜粋してまとめた。ここに挙げた用語(日本語訳)や定義は、今後、日本緩和医療学会のみならず関連団体を含めて、用語の統一を行っていく過程で変更される可能性がある。

呼吸困難

呼吸時の不快な感覚。

dyspnea/breathlessness/shortness of breath

呼吸不全

呼吸機能障害のため動脈血ガス (特に O_2 と CO_2) が異常値を示し、そのために正常な機能を営むことができない状態。定義上、動脈血酸素分圧が 60 Torr以下の状態を指す。急性呼吸不全と慢性呼吸不全がある。respiratory failure

悪性胸水

胸膜播種や腫瘍の転移・浸潤など、がん、悪性腫瘍が原因となって胸腔内に貯留した液体。 malignant pleural effusion

胸膜癒着術

胸腔内に癒着剤を投与し、壁側・臓側胸膜間に炎症を起こして、胸膜の線維化や腔の閉鎖を図る治療法。pleurodesis

咳嗽

短い吸気に引き続いて、声門が部分的に閉鎖し、胸腔内圧が上昇して、強制的な呼気とともに気道内容が押し出される状態を指す。cough

死前喘鳴

死期が迫った患者において聞かれる、呼吸に伴う不快な音。呼吸とともに意図しない発声がみられる呻吟(しんぎん)とは異なる。気道分泌過多〔感染症・腫瘍・体液貯留・誤嚥などにより気管支分泌物が多くなっている状態(excessive respiratory secretion)〕とは必ずしも一致しない。noisy breathing/death rattle/respiratory secretion

精神療法

精神科医、心療内科医、臨床心理士といった精神保健の専門家が、患者との相互交流を通して精神・心理的問題に対する支援を行う専門的治療。がん患者の場合、精神疾患や情緒障害に対してではなく、精神的苦痛の緩和を目的とする。

リラクセーション

緊張や不安、疼痛を軽減させるための方法。

〔注〕本ガイドラインでは、National Cancer Institute (米国国立癌研究所)の定義を引用した。

看護ケア

健康の保持増進,回復に関するケアを意味する。 〔注〕本ガイドラインでは、非薬物療法のうち看護師が 関わる可能性がある介入を看護ケアとした。

呼吸リハビリテーション

呼吸器の病気によって生じた障害をもつ患者に対して,可能な限り機能を回復,あるいは維持させ, これにより患者自身が自立できるように継続的に支援していくための医療。

[注] 本ガイドラインでは、日本呼吸管理学会/日本呼吸 器学会「呼吸リハビリテーションに関するステートメ ント | の定義を引用した。

呼吸理学療法

呼吸障害に対する理学療法の呼称および略称さらには総称であり、呼吸障害の予防と治療のために適用される理学療法の手段。

[注] 肺理学療法あるいは胸部理学療法は欧米での chest physiotherapy に相当する用語である。 Chest physiotherapy は通常、伝統的な気道クリアランス法、特に体位ドレナージとそれに付随する排痰手技(特に軽打、振動)に代表される気道管理に関する理学療法手技のみを意味するものである。呼吸理学療法と、肺あるいは胸部理学療法は、しばしば混同されているが明確な相違がある。

オピオイド

麻薬性鎮痛薬やその関連合成鎮痛薬などのアルカロイドおよびモルヒネ様活性を有する内因性または合成ペプチド類の総称。opioid

[注] 本ガイドラインでは、日本緩和医療学会『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014 年版』の定義を引用した。

オピオイドナイーブ

オピオイド未使用の状態。opioid naive

VAS

水平あるいは垂直に引かれた 100 mm の直線の 両端に両極端の状態 (例えば「息苦しさはない」「想像しうる最もひどい苦しさ」) を記載し、最も当ては まる線上にマークする自己評価法。

visual analogue scale

NRS

0~10の両端に両極端の状態(例えば「息苦しさはない」「想像しうる最もひどい苦しさ」)を記載し、最も当てはまる数字を選択する自己評価法。最大値は10以外に設定されることもある。

numerical rating scale

修正 Borg スケール

身体活動能力の評価を目的として開発されたカテゴリー尺度で、0~10の12段階(0.5を含む)の呼吸困難の強さを選択する自己評価法。

modified Borg scale

非侵襲的陽圧換気

気管内挿管や気管切開をせずに、鼻マスク、口鼻マスクなどの非侵襲的なインターフェイスをヘッドギアやホルダーで顔面に固定し、換気を補助する人工呼吸。NIV (non-invasive ventilation; 非侵襲的換気)と表記されることもある。

non-invasive positive pressure ventilation (NPPV)

高流量鼻カニュラ酸素療法

加温・加湿した一定濃度の酸素を高流量で経鼻的に投与する新しい酸素療法。 nasal high flow therapy はどとも呼ばれる。 high flow nasal cannula oxygen (HFNC)

(田中桂子, 山口 崇)